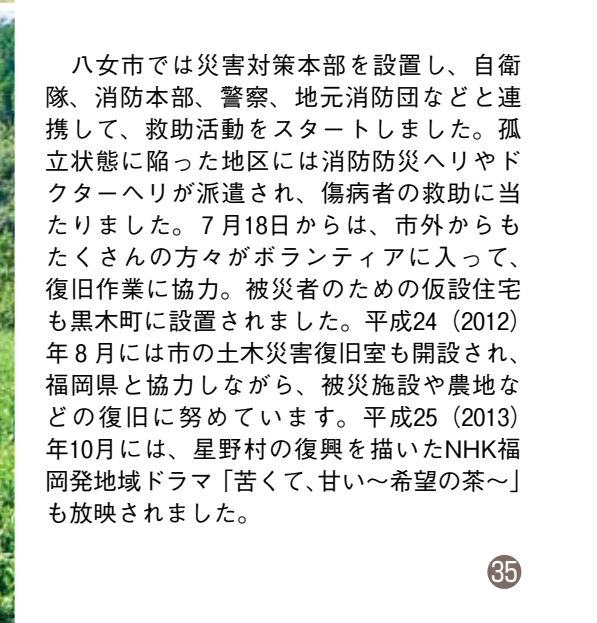




復興へ 復旧作業とボランティア活動

自衛隊、消防本部、警察、地元消防団などの協力のもと、市ではすぐさま復旧作業を開始。市外からもたくさんのボランティアの方が入って、復旧作業にあたり、八女市災害ボランティアセンターも設置されました。現在も、星野村災害ボランティアセンターと黒木町の山村塾が中心となってボランティア活動を続けています。

八女市では災害対策本部を設置し、自衛隊、消防本部、警察、地元消防団などと連携して、救助活動をスタートしました。孤立状態に陥った地区には消防防災ヘリやドクターヘリが派遣され、傷病者の救助に当たりました。7月18日から、市外からもたくさんの方々がボランティアに入って、復旧作業に協力。被災者のための仮設住宅も黒木町に設置されました。平成24（2012）年8月には市の土木災害復旧室も開設され、福岡県と協力しながら、被災施設や農地などの復旧に努めています。平成25（2013）年10月には、星野村の復興を描いたNHK福岡発地域ドラマ「苦くて、甘い～希望の茶～」も放映されました。